

柏陽地区複合施設整備・管理運営事業について

1. 現在の進捗状況

令和8年2月に契約締結となった柏陽地区複合施設整備・管理運営事業について、本施設に入居する関係機関及び事業者との協議を重ねながら、複合施設の設計作業を進めているところです。

2. 各スペースの配置の考え方

① 多世代交流の軸となるまんなかストリート

屋内は東西に伸びるまんなかストリートを中心に、図書スペース・交流スペースなどの空間を配置することで、利用者がたくさんの人やもの、情報に出会い、交流しやすい施設づくりをめざします。全ての部屋の出入口はまんなかストリートに面しており、各部屋への人の出入りが一目でわかるプランとすることで安全性を高めています。

② 安全性と開放性に配慮したプラン

エントランスは東西2か所とし、西側の民間収益施設と東側の公園へアクセスしやすくなります。東西の入口周辺に誰でも入れる交流スペースを設けることで、中の活動がわかるような開放的な空間となります。

③ 世代・用途に応じた各部屋の配置

■多目的ホール・活動室1

主に「子どもひろば」としての利用が想定される多目的ホールと活動室1は近くに配置し、連携した利用がしやすい配置となります。多目的ホールは天井高7mの開放的な空間とし、様々な活動に対応できるホールとします。活動室1は子どもひろばをはじめ様々な活動にフレキシブルに対応できる明るく開放的な空間となります。

■活動室3・4・5

主に「子育て支援センター」として利用する活動室5と、子育て支援相談室としても活用される小会議室は近接配置し、利便性とプライバシーに配慮しています。授乳室・おむつ替えコーナーも合わせて近くに配置し、子育て世代が利用しやすい環境を整えます。主に「学童クラブ」として利用する活動室3・4は、ランドセルの収納棚を設置するとともに、子どもが活発に利用できるよう窓が大きく明るい空間とし、可動間仕切りの格納スペースを設けることで安全な場を確保しています。

■活動室2・6

主に「憩いの家」機能として老人クラブ等が活用する活動室2・6は、防音仕様にするとともに収納スペースを確保し、段差のないフラットな空間としています。

<公共諸室 平面計画図>

